

水質浄化へ山海連携

大田ルポ

「森は海の恋人」。大田市温泉津町の温泉津漁港の道路沿いの看板に書かれている言葉を、JFしまね温泉津出張所運営委員長の森田辰彦さん(58)は、「いいねえ。自分たちの活動は小さなことかもしれないけど、残すためには、やめるわけに」

旧温泉津町漁協組合長だった森田さんや組合員たちは二〇〇一年五月、釣りが趣味で組合員と交流のあった島根森林管理署大和森林事務所の植



「山が豊かになれば海もよくなる」

海の恵みを漁師も理解し動く

これまで縁のなかつた中山間地域の川本町の国有林〇・二ヘクタールにブナなどの広葉樹を植林すると、その後は年一回森を訪れて枝打ちや間伐の作業に汗を流している。

山と海の関係はこうだ。間伐で地表に日光が当たり、草が生育する。草木が育てば雨が地面に浸透しやすくなり、水が地中を流れることでミネラル分が海に流れ、漁業資源に好影響をもたらす。

「山が豊かになれば海もよくなることを、海の恵みを受けている漁師が理解して率先して行

れまで縁のなかつた中山間地域の川本町の国有林〇・二ヘクタールにブナなどの広葉樹を植林すると、その後は年一回森を訪れて枝打ちや間伐の作業に汗を流している。

山と海の関係はこうだ。間伐で地表に日光が当たり、草が生育する。草木が育てば雨が地面に浸透しやすくなり、水が地中を流れることでミネラル分が海に流れ、漁業資源に好影響をもたらす。

「山が豊かになれば海もよくなることを、海の恵みを受けている漁師が理解して率先して行



温泉津漁港でネットに木炭を詰める森田辰彦さん(左から2人目)



「山が海の恋人」と書かれた看板の前で、漁師仲間と話す森田さん(右)

秋山豊寛

(農業兼著述家・ジャーナリスト)

ボクが校長という大層な役柄を拝命している「あぶくま農業者大学」の話をしたと思います。日本には、農学部など農業に関わる大学が約30程度あります。「あぶくま農業者大学」は、大学という名はつけ

ているもののような教育機関とは全く関係ありません。NPOというわけでもありません。誰でも入校できる「学び」の場です。

もちろん入学試験もありませんが、ただ一つ、「理念に賛同する方」という条件があります。三つの理念は、「生命の源である食を生み出す農業を、真に自然と共生する営みとして実現する」「大気汚染を、水

を汚さず、そして大地を汚さない」「天地自然の循環と調和を乱さず、生命への畏敬に基づく暮らしを希求する」ということを掲げています。昔の人は、食物に対して「命をいただく」と感謝していました。動物に限ら

「農」のある風景

もいます。そのくらい長い時間をかけて、「農」の風景が作られる、今、ボクもその風景の中の一員となっているのです。

ボクのシイタケは友人たちには好評です。「うまい」という声がかかります。特に天日干しのシイタケは手間ひまがかかりますが、太陽の光を浴び、「自然の恵み」を受



秋山豊寛(あきやま とよひろ) 1942年 東京都生まれ。ICU卒業後、TBSに入社、ロンドン駐在、政治家記者、フジテレビ支局長などを歴任。90年に日本初の宇宙飛行士として、ソユーズ宇宙ステーションに搭乗。帰国後はTBS報道局長を経て、95年に退職。現在は福島県で農業に従事し、無農薬栽培を実践。執筆活動も行い、環境問題にも積極的に関与している。

森林豆知識 保安林

水源の確保、土砂流出・崩壊などの災害防備、生活環境の保全や形成など、特定の公共目的を達成するため、森林法に基づき、立木の伐採や土地の形質変更の制限、植栽義務が課せられている森林のこと。

保安林には、土砂崩壊防備、防風、魚付き(豊かな海の維持に欠かせない森林)などの目的により17種類あり、それぞれの機能を発揮させるため、適切な保全が必要とされる。

04年度末、島根県内の民有保安林指定面積は、民有林面積493.6千ヘクタールの約33%に相当する161.9千ヘクタールに達し、主に水源かん養に88.3%、土砂流出防備に6.1%が指定されている。

この特集は14回シリーズで掲載します

企画・山陰中央新報社

みんなで 森林を守ろう!

「森林を守ろう! 情熱講演会」

倉本 聰 (くらもと そう) 1935年、東京に生まれる。東京大学文学部・美学科卒業。1959年、ニッポン放送入社。1963年、退社後、シナリオ作家として、主にテレビドラマを手掛ける。1977年、富良野に居を移す。1984年より私費を投じ、プロのシナリオライター・役者を養成する為の富良野塾を主宰している。代表作にテレビ「北の国から」、映画「駅-STATION-」、著書「ニングル」など多数。

入場無料

松江会場 平成18年 7月29日(土) 開場 10:00 開会 10:20 島根県民会館(大ホール) 定員1,600名

鳥取会場 平成18年 7月30日(日) 開場 13:00 開会 13:20 ホテルニューオータニ 鳥取(鶴の間) 定員900名

対象/12才以上 講師/倉本 聰氏

お申込み方法 専用ハガキもしくは官製ハガキに、お名前・性別・年齢・ご住所・電話番号・ご希望される会場(松江・鳥取)を明記の上、FAXまたはお電話でお申込みください。 ※お申込み専用ハガキは山陰合同銀行の本支店、出張所、代理店にあります。

お申込み締切日 各会場とも定員になり次第、募集を締切らせていただきます。

注意 ※お申込みの際にはお客さまの重要な情報が記載されていますので、ハガキの紛失やFAXの誤送信には充分お気をつけてください。 ※ご記入いただいた個人情報は、講演会のご案内及び参加受付のみに使用させていただきます。 ※募集定員は鳥根1600名、鳥取900名です。各会場とも定員になり次第、募集を締切らせていただきます。あらかじめご了承ください。 ※お車でのご来場はご遠慮ください。 ※招待券の発送が開催日に間に合わない場合は、電話にてご連絡いたします。

森林を守ろう! 山陰ネットワーク会議

【事務局】〒690-0062 松江市魚町10番地 山陰合同銀行地域振興部内 TEL.0852-55-1820, 1822 FAX.0852-28-0495

倉本 聰の 「北海道で考える」

主催:森林を守ろう! 山陰ネットワーク会議 特別協力:山陰中央新報社、新日本海新聞社

生態系の源である森林の荒廃が進んでいます。山陰両県は全国屈指の森林県です。両県の県民の皆様に森林の現状を知っていただき、望ましい森林を一緒に考え、解決策を探っていく運動を展開すべく、森林保全に関するボランティア団体やNPO法人によって「森林を守ろう! 山陰ネットワーク会議」が発足しました。このネットワーク会議の活動の一環として、北海道富良野市で「富良野自然塾」を設立し、閉鎖されたゴルフ場を森に戻す試みを始めている倉本聰氏を迎えて講演会を開催します。

静寂の中、 美しい森の音が聞こえる